

《 雷 門 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月11日（月） 午前10時から（会 場：雷門区民館）

◇町会内のことについて

質問	回答	対応
<p>①隅田公園内に酸素を放出する樹木を増加し、昔のようにアジサイロード、桜道と言われたとおり、草花を増やしてください。</p> <p>②水上バス公園入口の放置自転車を撤去してください。</p> <p>③隅田公園内に環境アート作品が設置されていますが、当初設置期間は10年ほどと聞いていました。その10年が経ちましたが、もし今後撤去をし、区としてこの場所を活用する予定がなければ、当町会の震災備品置場等に使用させていただけないでしょうか。</p>	<p>まず、隅田公園では全体の樹木の成長を踏まえ、過密な植樹とならないよう植栽に取り組んでいます。また、アジサイは毎年花が楽しめるように適切に管理しており、草花についても、花の名所づくりボランティア活動において、季節感のある草花を植えています。</p> <p>次に、水上バス公園入口付近は「放置自転車指導整理区域」に指定しており、巡回指導員による指導や注意喚起をはじめ、撤去作業を重点的に実施しています。しかし、違法駐輪は後を絶たず苦慮していますが、巡回で確認次第、マナー札による注意を行なっています。</p> <p>最後に、隅田公園内の環境アート作品の取り扱い、東京藝術大学と協議のうえ決定することとしています。設置から10年が経過しましたが、現在も観光アートスポットとして親しまれており、墨田区が管理している作品を含む全17作品によって、台東・墨田両地域を結ぶ観光アートラインを形成しています。引き続き、東京藝術大学、墨田区と作品の取り扱いについて協議してまいります。</p>	—

◇区役所の自転車について

質問	回答	対応
<p>区役所の駐輪場が混雑しており、自転車を置くスペースがなくて困っています。スーパーなどでは整理する方がいますが、区役所にはそのような方はいないのでしょうか。</p>	<p>現在、駐輪場の見回り、整理は、委託契約を結ぶ庁舎の警備員が行なっています。</p> <p>今回のご意見については委託業者にも伝え、連携を図りながら、より快適で整理された駐輪スペースを目指してまいります。</p>	—

◇町会掲示板について

質問	回答	対応
<p>今現在の掲示板は、風雨にさらされるとポスターなどがめくりとれることが多いです。</p> <p>ケース付きの掲示板にしたら良いのではないのでしょうか。</p>	<p>日頃より、区政情報の周知にご協力いただきありがとうございます。</p> <p>区ではこれまでも風雨に耐えられる紙の使用やサイズの統一、ユニバーサルデザインの画びょうの配付など、工夫をしております。</p> <p>現在、区では雨や風を受けても剥がれにくくする対策として、差し込み式フォルダやタッカーの採用を検討しています。</p> <p>今後も皆様からのご意見を伺いながら、貼りやすさ・剥がしやすさも含めて検討を進めてまいります。</p> <p>※令和7年度より、アクリル保護板付きのマグネット式掲示板へ順次更新をしていく予定です。（区民課）</p>	◇

◇将来の展望について

質問	回答	対応
<p>我々の町会は、お祭りや七五三など、ほとんどのイベントを隣の町会と仲良く一緒にやっています。</p> <p>しかし、防災訓練はそれぞれ別々の町会のグループに分けられて行われています。また、学校の学区も別に分けられています。</p> <p>今すぐ合併して1つの町会になるわけではありませんが、将来的にこれらが同じになることは可能でしょうか。</p>	<p>町会の合併については、諸課題が整い、両者の納得が得られれば可能だと考えます。</p> <p>しかし、避難所については、町会人口や施設規模などに応じて、町会ごとにあらかじめ指定しており、区全体のバランスを考慮する必要があります。</p> <p>また、小学校通学区の再編についても、これまで学校が培ってきた地域との関係や、歴史的経緯を十分に尊重する必要があり、保護者や学校、地域に与える影響が大きいと考えています。</p> <p>そのため、どちらに関しても慎重な協議・調整が必要であると考えています。</p>	<p>△</p>

◇健康推進委員の活動費について

質問	回答	対応
<p>健康推進委員は地区の健康増進のため、年2回のウォーキング、また同じく年2回の健康学習会を行い、年11回の連絡会も平日昼間に開催しています。</p> <p>聞くところによりますと、活動費として委員1人あたり、年額で¥12,000が支給されているようですが、ウォーキングの下見での交通費やカラー印刷のチラシ、また年6回のリーダー会が台東保健所で夜6時～8時頃まで行われており、ギリギリまで仕事をしているため自家用車で浅草から上野まで駆けつけ、駐車場代も馬鹿にならず持ち出しが多いとのこと。</p> <p>スポーツ推進委員、民生委員や消防団など、町会内の他の担当と比較しても待遇に大きな差があるように思われるのですが、改善の余地はございませんでしょうか。</p>	<p>健康推進委員の方々には、日頃から地域の健康づくりのためにご協力いただき、感謝しています。</p> <p>ご質問にありました、健康推進委員の方々に支給している活動費は、区民の自主的な健康づくりを支援し、各地区での健康づくり活動を推進するための費用として支払っているものです。</p> <p>具体的には、健康推進委員が各地区で行う健康学習会、健康度測定、合同交流会、活動報告会などに掛かる費用に充てていただくものと認識しています。</p> <p>健康推進委員が行うイベントの内容やその頻度は、地区によって様々ですので、今後も活動に関しては地域ごとに相談にのらせていただき、委員の方々が円滑に活動できるよう支援してまいります。</p>	<p>—</p>

◇雷門通り実証実験について

質問	回答	対応
<p>神谷パー前（浅草1-1-1）からアオノヤ前（浅草1-2-1）まで、片側二車線の雷門通りを3週間程度、24時間通行止めにして実証実験を行いたいと申し出がありました。</p> <p>それに対して、日常の商業活動および生活に多大な支障が生じるとして地元の方々が懸念を示しています。</p> <p>区のほうで善処していただきたいと思えます。</p>	<p>区では、浅草地区の概ね20年後のまちの目指すべき姿やその実現に向けた取り組みを示す「（仮称）浅草地区まちづくりビジョン」の策定を進めています。ビジョンの策定にあたっては、地域の皆様と本地区の現状や課題を共有しながら、まちの目指すべき姿について議論しているところです。</p> <p>議論の中で、「雷門通りの一部の歩道などの混雑の解消が必要」との意見をいただきました。また来街者を対象としたアンケート調査では、「浅草の残念なところ」は「混雑していて回遊できない等の人の多さ」との回答が40%で最多となっています。</p> <p>そこで、歩行空間の拡充や滞留空間の創出により、歩きやすい・歩きたくなる空間を提供し、まちに来たすべての人がゆったりできる居心地のよい浅草にしていくことを目的として、今後、雷門通り等で社会実験を行い、どのような歩行空間や滞留空間を創出すればよいか模索していきたいと考えています。</p> <p>歩きやすい・来たくなる空間の提供は、混雑の緩和による歩行者の満足度向上はもちろんのこと、回遊促進による本地区の活性化や広場の創出により人の交流が期待できる等の価値があります。</p> <p>なお、地域の皆様の社会実験に関するご懸念については、認識をしています。社会実験の実施にあたっては、地域の皆様と相談をさせていただきながら進めてまいります。</p> <p>地域の皆様やご商売をされている方、また本地区を訪れる方にとって、快適で賑わいのあるまちの目指すべき姿を示せればと思っています。</p>	<p>—</p>